

屋久島山行

日程	2018年6月1日(金)～6月4日(月)
参加者	桜田L 川上SL1 後藤 愛場 五十嵐 伊藤 飯田 江頭SL2 鯨井 9名
コース	淀川登山口➡淀川小屋➡宮之浦岳➡新高塚小屋➡縄文杉➡白谷雲水峡

6月1日(金)

午前7:00、羽田国内線ターミナル南ウイング2階1番に集合。

8:05 発 JAL で鹿児島空港に 9:50 に到着、10:15 発の小型飛行機に乗り換えて屋久島空港に 10:50 到着。

屋久島は、晴れ渡っていた。バスで安房という町に行きファミリーレストランかもがわで、ボリューム満点のかつ丼や海老丼を食べて体力をつけた。

13:26 発のバスで紀元杉まで行き、歩き始めた。淀川登山口まで 30 分ほど、そこから小屋まで 40～50 分ほどかかるという。

いきなりの急坂を登り 16:15 頃淀川小屋に着いた。40 人収容の淀川小屋が存外にきれいで、かつ先着者も数人しかいなかったことにほっとした。全員の寝床が確保できた。

お湯をわかしてもらい、アルファ米やレトルト食品での夕食作りにとりかかった。各自、旅のいりどりに牛丼やレトルトカレーなど工夫を凝らしたものを各自持ってきていた。

水場も近く、お茶やコーヒーも飲むことができて幸せだった。

夕食後やることもなく、歯を磨き、日暮れと共に寝袋に入る。

例によっていびきの合唱！！加えて、姫ネズミ (7cm ほどのちびネズミらしい) の出没！！カリカリカリカリとかじる音、はしりまわる音。にぎやかな夜。

6月2日(土)

3:45 頃起床、5:00 少し前に出発した。

出発にあたって、参加者を A チーム 4 人、B チーム 5 人に分けて A チームに特急で歩いてもらい、混むと思われる土曜日の宿泊場所をなるべく早めに確保してもらおうべく、新高塚小屋をめざしてもらった。A チームにはテント 1 張りも携行してもらった。B チームは万が一の事を考え、各自ツエルトを持参した。

歩き始めると、じきに見事な大木のシャクナゲがそこそこに咲き誇っているのに出くわした。美しくてもそれは プリンセス屋久島シャクナゲ ではなく、前座のシャクナゲ だ！などと軽口を言いながら山深きところに咲く、盆栽のように小さく、慎ましく、清楚で、可憐で、なのに華麗なプリンセスの出現を願った。

湿原の美しい花乃江川を抜け、黒味岳別れを過ぎ、投石平を登る。

あった！あった！山ほどのたくさんの 屋久島シャクナゲ だ。プリンセスが咲き誇

っている。男子も驚嘆の声をあげた。奇石・巨岩が配置され、天然の日本庭園のようだ。

安房岳、翁岩を巻いて栗生岳を超え、Bチームは10:30頃、宮之浦岳山頂に到着した。

小休憩後、永田岳分岐、平石岩屋、を経て急な登りのあと第2展望台、深く静かな森を歩いて第1展望台を経て、Bチームは、13:27にやっと新高塚小屋に着いた。

雨が降らないばかりか、二日目も、こんなに晴れ渡ると思わなかった。山々の大きな岩や落ちそうに乗っかっている岩、面白い切れ目の入ってる岩、豊富な水でのびのび育ったグラデーションの美しい新緑、そしてたっぷり流れる水場！人を怖がらず家族団らんしている屋久サルの群れ等々なんと楽しい山歩きだろう！

指令を負った歩くエリート集団Aチーム4人は、なんと11:30に新高塚小屋に着いたそうだ。普通集団Bチームの五十嵐たちより2時間も早い！Bチームが着くとAチームは気持ちよさそうに昼寝していた。

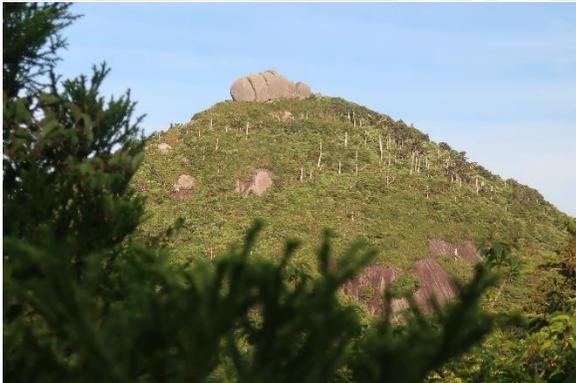
好天候と共にラッキーだったのは、あの新高塚小屋が杉並山の会の貸し切り状態だった事。Bチームが着いた13:30でも誰もいない。また寝床、完全確保！なんてこった！

水もたっぷり、お茶を飲んだり昼寝したり、4時頃から夕食をとり今日も早めに就寝。(ああビール飲みたいなあ・・・)

避難小屋の夜は今日もいびきの大合唱、姫ネズミ出没し、大活躍、後藤さんの頭の上を飛んだらしい・・・ああ。

五十嵐 記









昨日の華やかなシャクナゲの風景から一転、今日は杉林、立派な大木が沢山立ち並ぶが、まだ屋久杉とは言えない名もない杉の木ばかり… それでも生命力に満ち溢れた大木に圧倒されながら縄文杉を目指し進んで行く。縄文杉に到着後、記念撮影をして展望台をぐるりと散策。夫婦杉、大王杉、ウィルソン株へ

ウィルソン株の中へ入ってみた。何処かのポイントから上を見上げると♡に見える聞き、皆であれこれと探してみた。「あ!!!ここだ〜」♡に見えるポイント発見。写真撮影し綺麗な♡型に感動しました。

大株歩道入口でトイレ休憩を取り、トロッコ道を進んで行く。途中、鹿に遭遇、盛り上がる私たちにはお構いなし一心不乱に草木を食べている。

結構長いトロッコ道。昔、杉の木を運ぶ為に使われていた線路だが、現在も現役、今はトイレの汚物処理した物を運搬するのに使われていると伊藤さんのお友達の屋久島ガイドをされている方が教えてくれました。

楠川別れ分岐でお昼休憩を取り辻峠へ向かう。屋久島最後の登り道、苔むした風景が始まり1時間程歩き辻峠到着。荷物をデポし太鼓岩へ向かい20分程登ると大きな岩が顔を出した。恐る恐る岩の上に立って見る。怖くて岩から下を見る事が出来ないが、正面には、昨日制覇した宮之浦岳の山並みが一望。素晴らしい展望でした。宮之浦岳を背に、全員で記念撮影をし、太鼓岩を後に辻峠へ戻って来た。ここで川上さん伊藤さんの2人が3時間は掛る奉行杉コースに行く事に決め颯爽と出発していった。残りのメンバーは予定通り苔むす森をゆっくりと進んで行く。

ジブリ映画の「もののけ姫」の舞台になった森、“こだま”が出てきそうな神秘的な風景がひっそりと広がっている。

幾つもの奇妙な杉の木、苔むす幻想的な風景。おとぎの国に居る様な神秘の世界でした。

バス停に到着。予定より早目の14時のバスに女性陣は乗り、宿へ向かいました。

男性陣は、奉行コースへ向かった2人を待ち予定のバスに乗ることにしました。

宿に到着し、さほど待たずに男性陣と奉行コースの2人が宿に到着。

聞くとところによると3時間は掛る奉行コースを僅か1時間半で制覇したと… かなりアップダウンの激しいコースだったとの事、物凄い健脚!! 向かうとこ敵なしですね。

荷物の整理をして、2日分の汗を流しゆっくり湯船に漬かり、ほっと一息。

夕飯の時間、見事なトビウオの唐揚げ、頭から全て食べられると説明を受け、早速かぶりつく。

カッリと香ばしく美味しい。2日ぶりの温かいモチモチの白飯、味噌汁が身体に染み渡る〜

屋久島産焼酎(愛子)サラリととても飲みやすい。

部屋に戻り、賑やかに雑談、8時から全員で大河ドラマ「西郷どん」鑑賞!!

鑑賞会終了後、各部屋に戻り就寝。

4日(月) 晴れ

朝食を頂き8時10分のバスで一湊にあるサバ節工場見学。屋久島で古くから伝わる伝統の工場全て手作業で、捨てる所なく全て利用しているとの事。サバのスモークをご馳走になり、お土

産を購入。

近くの一湊海水浴場でバスが来るまで時間を過ごす。

穏やかなエメラルドグリーンの海がとても綺麗で心が踊る

何軒かお土産屋さんにより、地元で有名なお店でお昼ご飯を頂き、予定通り無事に羽田空港到着。

天候に恵まれ、あっという間の夢のような4日間でした。怪我無く皆元気に帰宅出来ました。

桜田リーダー、皆様大変お世話になりました。 飯田 記

奇跡の屋久島登山！一言感想



○素晴らしい天気！天に突き出るような巨石！プリンセスそのもののシャクナゲの群落！屋久島山行は心配が全部逆転した楽しい山行になりました。言霊に会えなかったのは残念だけど、それは贅沢っていうものなのでしょう。何せ、賑やかだった我々！言霊たちだってびっくり、隠れてしまったのでは？

今、雨に濡れた苔の中で屋久島の精霊たち楽しんでいることでしょうね。(江頭恭子)

○二度目の屋久島は満面の笑顔で迎えてくれた。あの雄大な自然にまた会いたかった。

4日間雨がまったく降らない恵まれた山行となった。

ぜいたくを言うと樹木に宿る精霊やフェアリーは、しっとりとした雨空のほうが似合う気はした。

でも今回も、大きな自然に包まれて、幸せな刻をすごせた。(五十嵐和子)

○屋久島の計画が出た時からワクワク!! ドキドキ!!

雨の屋久島、雨対策、覚悟して挑みました。

3日間、快晴。美しいシャクナゲ、屋久杉の生命力、山並みの美しさ、山のあちらこちらに散らばる巨大な石、猿の親子に鹿の可愛いこと、見るもの全てが美しい自然、素晴らしい屋久島を堪能しました。

笑いばなしの3日間、最高の山行とても楽しかったです。皆様お世話になりました。

何度も行程を練り直して、皆を引っ張ってくれた桜田リーダー有難うございました。(飯田美花)

○雨を覚悟して臨んだ「宮之浦岳」はまさかの4日間快晴！青空に宮之浦岳、シャクナゲ、巨

岩、貸し切りの縄文杉、何もかも素晴らしく夢のようでした。今回の素晴らしい経験を仲間の皆さんと共有出来たことが何より嬉しいです。皆様ありがとうございました。

(後藤好美)

○40PT最後の山行き、梅雨に入って覚悟の雨(4日間雨無し)避難小屋大混雑でテント泊(2軒の山小屋がら、姫ねずみさんちょっぴり)、神秘的巨大杉、シャクナゲだらけ、可愛い鹿とサル。天気にも恵まれることがなんて素敵なことか、みんなが笑顔、笑顔、それを見ているほうも笑顔、笑顔だらけの屋久島でした。(桜田力治)

○念願の屋久島。友人が島に移住してからずっと行きたかった。本当に奇跡の連続!まさかの晴天。傘要らず。ほぼ独占した新高塚小屋。石楠花満開。山中では、鹿と猿がお出迎え。展望台からの大パノラマ。豊富な水。朝焼け。縄文杉。太鼓岩。苔むす森。チュウにやられたスルメ。一湊の海。名酒【愛子】...思い出満載。お天気、メンバーに恵まれて最高でした。御尽力いただいた皆さまに感謝(伊藤祐子)

○一ヶ月に35日雨が降るといわれるほど雨の多い屋久島です。すでに九州は梅雨入りしていましたから、土砂降りの雨にもみまわれることを当然覚悟していましたが、4日間6月の屋久島では考えられないような晴天に、本当にラッキーでした。世界自然遺産の屋久島ならでの屋久杉の巨木とコケの深い森の中を木漏れ日を感じながら楽しく歩きました。宮之浦岳周辺では満開のシャクナゲが素晴らしく、シカやサルまでがすぐ近くまで寄ってきました。天候に恵まれ、楽しく思い出に残る山行でした。(愛場良雄)

○今回の班分けで、2日目は避難小屋の確保係となりましたが丁度良いペースで楽しく歩くことができました。後藤さん山岳部長よろしくお願ひします。

3日目も白谷雲水峽を伊藤さんとハイペースで歩き、想定外のバスの時間にもぎりぎりセーフで大満足でした。(川上裕司)

○青空に満開の石楠花の花が良く映えました。

9年前に行ったときの、雨に煙る苔むす深い森とは対照的でした。

どちらも屋久島の自然の魅力に感動しましたが、今回4日間天気にも恵まれたのはほとんど奇跡です!(鯨井明子)